セグメント別営業概況 Segment Information

調味料・加工食品事業 85%

総菜関連事業等 13%

その他の事業 2%

調味料・加工食品事業

売上高 23,237百万円

セグメント利益 1,472百万円

主な事業内容

調理加工食品(ポテト/ゴボウ/ツナ等を使用したロングライフサラダ等)、マヨネーズ・ドレッシング類、タマゴ加工品(厚焼き卵、タマゴサラダ等)の製造・販売

<調理加工食品>は、従来からの主力商品であるポテトサラダ、パスタサラダ、ツナサラダが量販店、コンビニエンスストア、製パン向けに新規採用されたことに加えて、パンプキン、オニオン等の素材を活かした商品やフルーツを使用した商品が伸張しました。また和惣菜では外食向けにキンピラゴボウ等が採用されたことにより、増収に寄与いたしました。

<マヨネーズ・ドレッシング類>は、製パン、量販店、コンビニエンスストア向けに1kg袋形態や小袋形態のマヨネーズが伸張し、ドレッシングも外食向けや西日本工場製の主力商品が大幅に増加いたしました。また新製品のソースが様々な分野で採用され、堅調に推移した結果、増収に寄与いたしました。

<タマゴ加工品>は、製パン及びコンビニエンスストア向けのサンドウィッチ用のタマゴサラダや焼成パン用のタマゴサラダが新規採用されました。またコンビニエンスストア向けの茹で卵の伸張により大幅な増収となりました。

総菜関連事業等

売上高 3,630百万円

セグメント利益 173百万円

主な事業内容

国内の連結子会社7社が行う事業。フレッシュ総菜(日配サラダ・惣菜)の製造及び量販店等への販売、ケンコーマヨネーズからの調理加工食品及びタマゴ加工品の生産受託事業

売上高は量販店向けの新規採用によりポテトサラダ、ゴボウサラダの増加やタマゴ製品のキャンペーンによる増加がありましたが、一部の取引においては取引額の減少が見られました。利益面は主要な原料である鶏卵相場が前年を下回る水準で推移していることや歩留改善、経費削減等のコストダウンの取り組みにより、利益率の改善に繋がり増益となりました。

その他の事業

売上高 521百万円

セグメント利益 △99百万円

主な事業内容

ショップ事業(サラダカフェ・ショップ)及び海外事業

<サラダカフェ>は、阪急百貨店うめだ本店のリニューアルに合わせ「WORLD SALAD Chef's DELI」(2012年10月)を、また小田急百貨店町田店(同10月)に「Salad Cafe」を新規出店し、合計16店舗体制となりました。

<海外事業>では、中国・杭州の工場での生産がスタートしました。

Salad Cafe 小田急百貨店町田店

株主優待のご案内

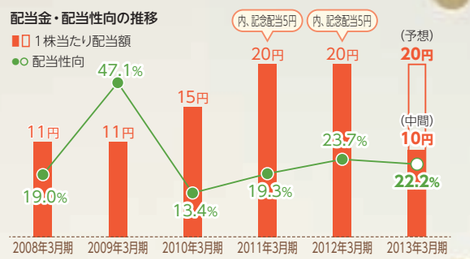
Shareholder Generous Treatment

業務用メーカーとしてホテル・レストラン等各分野のプロから鍛えられ続けている当社マヨネーズ・ドレッシングの味を是非ご賞味ください。毎年3月31日現在の株主名簿に記載されております株主の皆様に対して、年1回、当社商品を贈呈いたします。

◀ 当社商品2,500円相当(商品例)

▶ 当社商品1,000円相当(商品例)

株主優待品

権利確定日 ： 決算期末(毎年3月31日)現在の株主様に対して年1回
送付時期 ： 毎年5月下旬～6月上旬

贈呈の基準	贈呈品
10単元(1,000株)以上の保有株主様一律	当社商品2,500円相当
1単元(100株)以上10単元(1,000株)未満保有の株主様一律	当社商品1,000円相当